

2024 年 7 月 22 日

通貨ニュース

トルコ: 大手格付会社がトルコ国債の格付けを 2 段階引き上げ

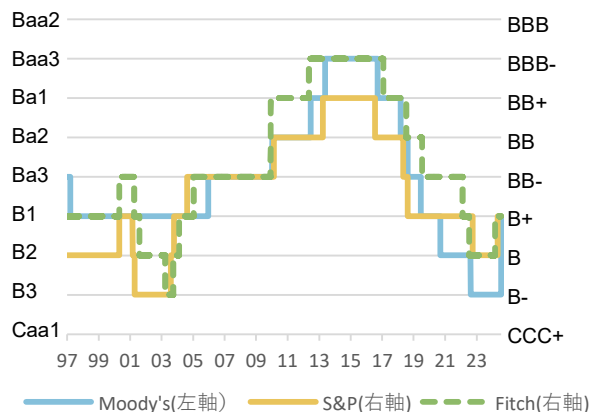
大手格付会社 Moody's は 19 日の引け後に、トルコ国債の格付けを※B3 から※B1 へと 2 段階引き上げた(※無登録格付け)。格付けの水準は他の大手 2 社(S&P、Fitch)に並んだ格好となる(図表 1)。Moody's は格上げの理由として、主に「断固として確立された正統的な金融政策への転換」を挙げた。さらに「インフレと国内需要は緩和し始めており、今後数か月から 2025 年にかけてインフレ圧力が大幅に緩和されるとの確信が高まっている」としている(図表 2)。

見通しは「※ポジティブ」に維持、リスクバランスは「上向きに偏っている」としており、マクロ経済の改善が続けばさらなる格上げがありうることを示唆した。一方、「政治リスクは依然として格付けの制約となっている」とも警告している。この点はあまり具体的に書かれてはいないが、現在の緊縮的な金融・財政政策が、家計の購買力を毀損させ、支持率低下と政権交代のリスクを懸念したエルドアン政権が再び政策を転換してしまうリスクのことを指しているだろう。

Moody's の格上げは、発表前から金融市場で意識されていたと見られ、週明け 22 日の東京市場早朝、TRY の反応は限定的に留まっている。それでも、S&P(2024 年 5 月 3 日)、Fitch(2024 年 3 月 8 日)の格上げに引き続き、これまでトルコ国債に対して最も厳しい評価を下していた Moody's が「2 段階の格上げ」かつ「見通しはポジティブ」で応じたことは、トルコ経済・金融市場にとっては間違いなく明るい材料と見て良いだろう。ただし、投資適格の水準(Baa3)にはまだ 4 ノッチ離れていること、Moody's が指摘しているように政治リスクは残存していることから、引き続き政策動向は慎重に見ていく必要がある。

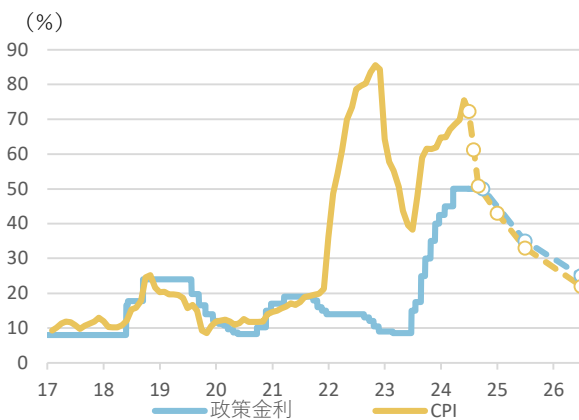
欧州資金部
シニア為替ストラテジスト
中島 将行
masayuki.nakajima@mizuhoemea.com

図表 1: トルコ国債の格付け推移(19 日時点)



出所: ブルームバーグ、みずほ銀行
※外貨建て長期債務格付け(無登録格付け)

図表 2: トルコの CPI と政策金利(実績、民間予測値)



出所: トルコ中央銀行、ブルームバーグ、みずほ銀行
※点線はトルコ中央銀行が毎月集計公表している国内の金融・企業関係者による金利・物価見通し(最頻値)。2024 年 6 月 14 日公表分。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。